

2/18 (火) 大石田出張所・大石田町・大石田地区流雪溝利用協力会連合会

消流雪意見交換会を実施

大石田地区消流雪用水導入事業は、平成15年12月に竣工し10年が経過しました。そこで消流雪を利用している地域の方々から様々な意見や感想をだしてもらい、今後の事業推進に向けて参考といたく意見交換会を行いました。

意見交換会では、大石田地区流雪溝利用協力会連合会の会長・副会長・幹事に参加いただき、利用状況や要望などについて意見をいただきました。いただいた意見は、今後の消流雪用水導入事業の参考としていきます。

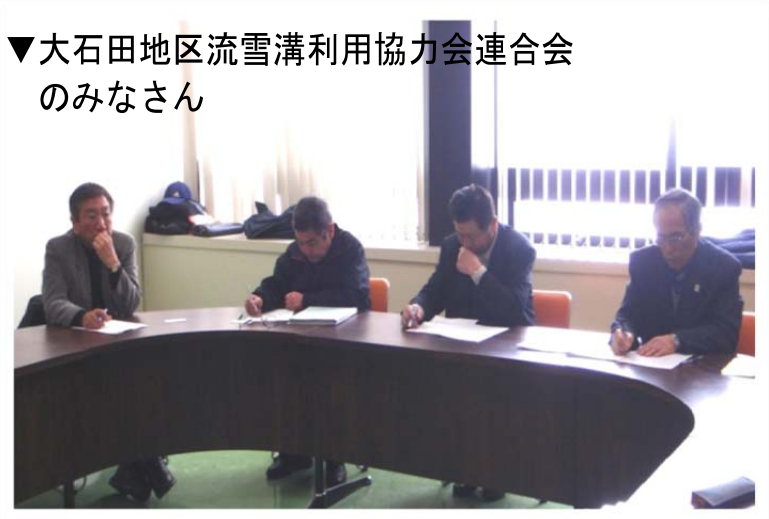


▲意見交換会の様子

いただいた意見

- 消流雪がなかった頃は、雪を捨てる場所が無く、家が雪で埋まっているような状態だったが、消流雪がある今では、家の前には雪が無く、スムーズに家には入れるようになった。町のメインストリートにも雪が無くなり、かなりの効果である。
- 雪を捨てる場所がないため道幅も狭くなっていたが、消流雪により道路が広くなり、交通事故が減った。また、子供たちも通学しやすくなった。
- 消流雪ができたばかりの頃は、一度に多くの雪捨てをする方もおり、流雪溝が雪でつまり、流雪溝から水が溢れ道路が水浸しとなったときもあったが、連合会の監視や地域の方々の意識の変化により、ルールを守りながら使用しているため、水が溢れることは少なくなってきた。
- 流雪溝の水量が少なく、水深が10cm程度であるため、雪が詰まることがある。詰まった場合、スコップ等で崩しながら流しているため、もう少し水量がほしい。
など

▼大石田地区流雪溝利用協力会連合会のみなさん



消流雪用水導入事業の効果
(大石田地区)

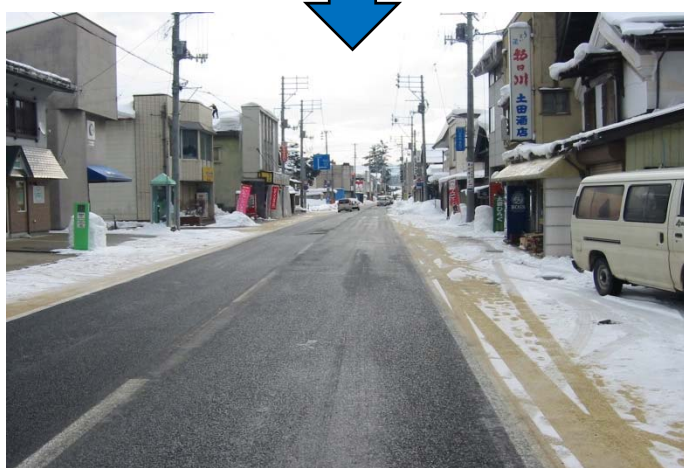
〔流雪溝投雪前〕



路肩に雪が堆積



〔流雪溝投雪後〕



路肩に雪がなく、道幅が広い



第2回 (1/29)新庄河川事務所事故防止対策委員会

安全パトロールを実施しました。

工事現場での事故をなくすため今年度2回目のパトロールを大石田出張所管内で行いました。2箇所の工事現場を見て廻り、安全の確認状況や危険箇所の確認を行いました。

点検終了後には検討会が行われ、改善すべき点や工夫している点など意見を出し合いました。改善点については速やかに対応し、安全対策をより一層高めていく意識を共有しました。

安全対策を万全にし、「事故ゼロ」を目指します



鷹巣地区導水路工事



横山地区堤防強化工事

現場技術者による「安全施工技術研究発表会」において はながさ建設(株)の大場宏幸さんが「最優秀賞」を受賞!

3月5日(水)、新庄市民プラザで「第18回現場技術者による安全施工技術研究発表会」が、新庄河川事務所事故防止対策委員会と安全対策協議会の主催で開催されました。

この発表会は、安全対策や施工技術に係る創意工夫等に取り組んでいる事例について発表し、現場技術者の施工技術の向上と労働災害の未然防止に役立てようとするものです。

審査の結果、応募のあった58題の中から大石田出張所管内の河道整備工事を施工した、**はながさ建設(株)の大場宏幸さんが「工事現場における安全管理について」を発表し、最優秀賞を受賞しました。**

応募論文については、新庄河川事務所ホームページ (<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>) に掲載されています。

おめでとうございます!



今年度の積雪量は平年並!

*融雪時の河川の増水にご注意ください。

